



安心できる住環境の確保に向けた他職種連携の 在り方に関するモデル研修会のご案内

福祉用具や住宅改修は、利用者が可能な限り居宅で自立した日常生活を継続していけるよう、生活機能の維持・改善や介護者の負担の軽減を図る役割を担っています。一方、利用者の心身状況や生活環境は多様であることから、福祉用具専門相談員が中心となり福祉用具や住宅改修を通じて安心できる住環境を確保した上で、介護支援専門員、リハビリテーション専門職、医療・看護職、介護職、建築関係職等が、お互いに連携を取り合いながら、利用者本位の支援を行っていくことが重要です。

また、自立を支援し、要介護度の悪化を防ぐためにも、利用者が軽度のうちから、住環境確保を実施することが不可欠であり、特に在宅での介護・看護・リハビリ等の他の在宅サービスの利用に配慮した福祉用具や住宅改修の一体的な導入が必要であり、他職種の連携に必要な研修が求められています。

このたび、(一社)全国福祉用具専門相談員協会(以下：ふくせん)では、今年度の厚生労働省老人保健健康増進等事業における「安心できる住環境の確保に向けた他職種連携の在り方に関する調査研究事業」として、他職種との連携状況等についての実態を調査し、他職種連携に向けた研修カリキュラム等を作成するとともにモデル研修会を実施いたします。

皆様におかれましては、このモデル研修の趣旨をご理解いただき、本研修会にご参加いただければ幸いです。

厚生労働省老人保健健康増進等事業(老健事業)

【安心できる住環境の確保に向けた他職種連携の在り方に関するモデル研修会】

開催日時：令和2(2020)年1月17日(金)13:30~17:30(受付13:00~)

会場：長崎県勤労福祉会館 大会議室(3階)

住所：〒850-0031 長崎県長崎市桜町9-6(市電：市民会館駅：徒歩3分)

参加費：無料(※交通費等は別途ご負担ください)

対象者：介護支援専門員、リハビリテーション専門職、医療・看護職、介護職、
建築関係職、福祉用具専門相談員、他

講師：金沢 善智氏(ふくせん理事)

株式会社バリオン 介護環境研究所 代表取締役 医学博士。

理学療法士(PT)として訪問リハビリテーションを行う中で、在宅障害者に対する住環境整備の不備と改善の必要性を痛感し退職、東京理科大学および同大学院で建築学の基礎を学ぶ。その後、PT養成の教員をする中で、東京都内および青森県内、秋田県内を東奔西走、福祉用具導入および住宅改修(バリアフリー・リフォーム)を現場で実践し、そこから得られるノウハウの蓄積を行う。その中で、さらなる医学知識の必要性を感じ、医学研究科に研究生として通い、医学博士を取得する。

定員：30名(定員を超える場合には調整させていただきます)

■(一社)全国福祉用具専門相談員協会(略称：ふくせん)のご案内■

福祉用具専門相談員の専門性向上を目指す職能団体です。全国各地で研修会等を開催しています。介護系の国家資格取得者の方は本会へご入会いただけます。詳しくは本会ホームページをご確認ください。「ふくせん」で検索！

一般社団法人 全国福祉用具専門相談員協会(ふくせん)

〒108-0073 東京都港区三田 2-14-7 ローレル三田 404 号室

TEL:03-5418-7700 / FAX:03-5418-2111 / E-mail:info@zfssk.com

ホームページ: <http://www.zfssk.com/>